



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 7 月 5 日

いわき市長 殿

提出者

住 所 いわき市泉町下川字大劔399番地8

氏 名 二チハ株式会社 いわき工場
いわき工場長 竹内 剛志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0246-56-1588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	二チハ株式会社 いわき工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町下川字大劔399番地8
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

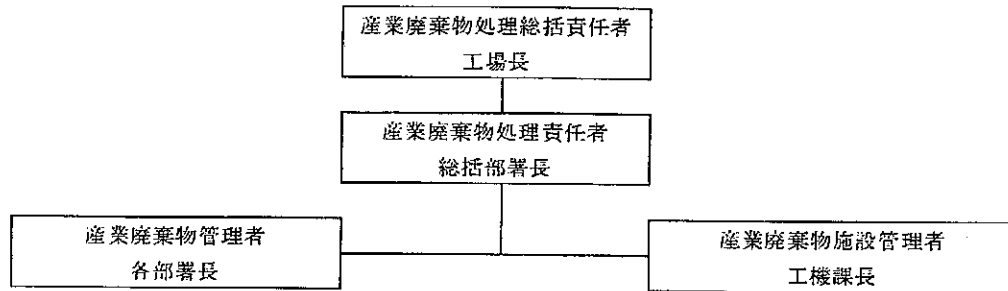
① 事業の種類	その他のセメント製品製造業【2129】
② 事業の規模	8, 136百万円
③ 従業員数	163名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物 分別 中間処理 最終処分 埋立 再資源化 処理

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
	自社製品原料への回収率向上、及び新規対策・対応の模索 各部署での不良品発生減対策 各製造ラインでの発生元の低減化、及び回収率の向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組)		
	現状を継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類 保管場所に識別用表示を設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従業員への分別意識向上の為の教育

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙のとおり		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

請
じ
ま
と。
中
間
量
行
収
あ
へ
と
の
入

ニチハ株式会社 いわき工場

別紙

2024年度 産業廃棄物処理計画

<前年度(2023)実績::本年度(2024)計画>

ニチハ(株) いわき業務課

(昨年度実績(2023)の種別発生量から見た主な発生抑制と処理計画について)

2024年7月5日

種別	品目	2023年度		2024年度		自社内発生抑制の主な内容	主な処理計画
		見込量	処分別実績量(t/年)	発生見込み量(t/年)			
産業廃棄物	汚泥	358 0 358	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	375 0 375	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	386 0 386	・塗装回収効率改善を行い発生抑制を図る。 ・塗着効率向上による発生抑制
	ガラスくず及び陶磁器くず	3,670 22 3,692	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	2,145 24 2,170	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	2,209 22 2,231	・自社内製造工程へ回収増とする運転で発生を抑制。
	廃プラ類	215 0 215	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	327 0 327	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	337 0 337	・発生抑制の啓蒙を図る。 ・分別の推進
	木くず	1,636 0 1,636	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	2,126 0 2,126	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	2,190 0 2,190	・発生抑制の啓蒙を図る。
	廃油	50 0 50	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	24 0 24	委託中間処理量 委託埋立処分量 計	24 0 24	・発生抑制の啓蒙を図る。
	産業廃棄物の合計(t/年)	5,951		5,022		5,168	
	同 中間処理再利用率			4,997		5,146	
	同 中間処理による減量			0		0	
	同 埋立処分量			24		22	
特管		0	中間処理再利用 委託埋立処分量 計	0 0 0	中間処理再利用 委託埋立処分量 計	0 0 0	

1. 排出抑制に関する事

・自社の製造品からの発生が大半であり、自社内での再利用と発生減を各部署で取り組んでいる。

2. 再生利用に関する事

・専門会社、納入会社との連携で極力埋立減に努める。ガラ陶くずに関しては、製品端材回収設備にて自社回収にて運用中。